

獣医学部 小論文出題例

入試年度	獣医学科
2021	<p>問 次の文章を読んで設問に答えなさい。</p> <p>この文章は著作権法上の都合により公開できません。</p> <p>(出典)BBC NEWS JAPAN (著者名)ジェイムズ・ギャラガー、BBC健康科学担当編集委員</p> <p>設問 この記事では、新型コロナウイルスの収束には、たとえ有効なワクチンができたとしても、「膨大な数」の課題が残っていると科学者たちが考えていると書かれています。有効なワクチンが開発された後の私たちの社会の中にある「膨大な数」の課題とはどのようなことが考えられるか、またその対策は何か、あなたの考えを800字以内に述べなさい。</p>
2020	<p>問 次の文章を読んで設問に答えなさい。</p> <p>近年人工知能(artificial intelligence: AI)技術の発展が凄まじい。医療分野においても例外でなく、これまでの膨大な臨床データをAIに学習させることで、病気の診断や治療効果の予測において人間を凌駕する日が近いかもしれない。しかし、実際にAIを医療の現場に導入する際には、人間の心理面の問題等、様々な課題が存在する。また医療には、人間である医師のみのできる役割も存在する。医師が、AIにはできない仕事を大切にしながら、AIをアシスタントとして上手く活用できれば、よりよい医療が実践できるだろう。 (金容大. CBEL Report. Volume 1より引用(一部改変))</p> <p>設問 医療現場と同様に、今後AI技術が獣医療現場(小動物臨床、産業動物臨床)にも導入される可能性がある。AIにできなくて人間である獣医師のみのできる役割について、具体例を挙げて説明しなさい。(800字以内)</p>
2019	<p>問 次の記事を読んで設問に答えなさい。</p> <p>人間に命を絶たれることが前提となっている動物には大きく2種類ある。科学の研究に不可欠である実験動物と、肉などの食物となる家畜だ。人間として、同じ命を持つ彼らに何ができるだろうか。近年は「動物倫理」や「動物福祉」といった領域で議論が進んでいる。「人間と動物を分ける理屈を見いだすのは難しい」。動物倫理を研究する京都大文学研究科の伊勢田哲治准教授(49)は指摘する。(中略)現代社会では人間の命はほかの動物より大事という前提が存在する。安全性が不透明な中で人間対象の実験はできない。伊勢田准教授は「現実的な対応として、実験動物の苦痛と使用数の削減、代替法の検討をした上で実験が認められるべきという動物福祉の考え方が広まった」と説明する。こうした理念は、2005年の改正で動物愛護法に盛り込まれた。(中略)</p> <p>近年は、欧州を中心に家畜の快適な飼育環境を重視する動きが広がっている。国内でも家畜の福祉向上が模索されている。動物行動学が専門の岐阜大の二宮茂准教授(39)は畜産農家と協力して、適切な飼育環境の研究をしている。だが「動物の心の中身を科学的に分析するのは難しい」と率直に語る。(中略)二宮准教授は「科学的な知見に基づいて、適切な飼育環境を提案するのが仕事」と解説する。畜産農家も、以前から動物の飼育環境には気を配ってきた。科学的知見と組み合わせ、健康に育てて生産性を上げることにつなげたいという。(以下省略) (2017年12月26日付け 京都新聞より一部修正して引用)</p> <p>設問 私たちが生きていく上で、実験動物や家畜は利用せざるを得ない。彼らの尊厳を考える意味についてあなたの考えを800字以内で述べなさい。</p>
2018	<p>問 次の文章は新聞に掲載された、ペットの飼育に関する記事のひとつです。この記事を読み、設問に答えなさい。</p> <p>東京某所の動物病院の院長は、子どものころからとにかく動物が大好きだった。現在は、爬虫(はちゅう)類や両生類、タランチュラ、アリクイ……と、珍しい生き物の治療も引き受ける「珍獣ドクター」として有名になった。しかし、彼には「ペットを飼うのは、所有したい、手なづけたいという人間のエゴイスティックな欲の現れにすぎない」との思いもある。中学生になってイグアナを飼い始めたのは、ただ「怪獣みたいでかっこいいものが欲しい」という一心からだった、と振り返る。</p> <p>「動物は口をきかないので、人間の勝手な感情を投影しやすい。だが、動物は人として本当に幸せなのだろうか。動物と生きることの『業(ごう)』に、人がどこまで気づけているのか、と思う」 (2012年1月15日付け 朝日新聞より一部修正して引用)</p> <p>設問 この記事の中では、以下の二つの問題提起がなされています：①ペットを飼うということ自体が人間のエゴの現れに過ぎないのではないか、②ペットは飼われていて本当に幸せなのか。この①と②の両方に対して、あなたの考えを800字以内で述べなさい。</p>
2017	<p>次の文章は新聞に掲載された、ペットの殺処分に関する記事のひとつです。この記事を読み、設問に答えなさい。</p> <p>江戸に詰っていたある藩主に上京の命が下った。出発の日、愛犬がお供をしようとって聞かない。引き離そうにも近習にかみつき、「とりあえず品川まで」となった。犬は品川で再び暴れ、ついに京までお供したという。</p> <p>人の都合で旅のお供になり、留守番にもなる。中には命の期限を定められたペットもいる。飼い主募集のウェブサイトで秒針の音を聞きながら引き取り手を待つ犬猫は多い。「期限まであと〇日」の表示は、命の残り時間だろうか。</p> <p>東京都知事選で「殺処分ゼロ」を掲げたのが当選した新都知事だった。支援者らと手を結び、2020年東京五輪までに「人とペットの共生」のモデルを世界に示すという。その取り組みのひとつとして、飼い主のいない猫の里親を探すイベント「猫の譲渡会」が近く千代田区役所で開催される。生後3か月～10歳程度までの猫が対象となる予定。いずれの猫もワクチン接種や去勢、不妊手術などが済んでいるという。 (2016年8月27、28日付け 産経新聞より一部修正して引用)</p> <p>問 現在、捨て犬や捨て猫の増加が大きな社会問題となっています。行き場の無くなった動物たちが、殺処分されるという悲しい事象を減らしていくため、環境省も平成25年から、「人と動物が幸せに暮らす社会の実現プロジェクト」を立ち上げ、様々な活動を行ってきました。この中には、飼主や国民の意識の向上、動物の引取り数の削減、動物の返還と適正な譲渡の推進、などが含まれており、動物の殺処分の減少につながっていくことが期待されています。このような東京都や環境省の試みを踏まえて、捨て犬や捨て猫の殺処분을減らしていくには、どのような活動が有効であるかについて、あなたの考える具体例およびその論拠を800字以内で述べなさい。</p>

動物応用科学科の小論文出題例について

- 動物応用科学科では、2022年度入学試験から小論文試験を導入するため、出題例の掲載はありません。

生命・環境科学部 小論文出題例

入試年度	臨床検査技術学科
2021	問 患者さんの病気を理解し、寄り添うことができる臨床検査技師となるために必要な資質は何か、あなたの考えを述べなさい。(800字以内)
2020	問 2020年7月24日から東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。これにともない懸念される医学的あるいは公衆衛生的課題をあげ、それに対する対策について、あなたの考えを述べなさい。(800字以内)
2019	問 多くの業種で産業用ロボットが利用され、病院等では自動分析機器による検体検査が多用されている。このような状況にある君たちが臨床検査技術学科に入学し、近い将来、医療検査の分野で活躍していくには、どのようにしたらよいか？先ず、あなたが抱(いだ)いている理想やイメージを、次に、その理想に向けてどのような努力をするか、あなたの考えを800字以内で述べなさい。
2018	問 チーム医療の一員として臨床検査技師が果たす役割について、あなたの考えを述べよ。(800字以内)
2017	問 日進月歩の医学界において臨床検査技師に求められている資質についてあなたの考えを述べなさい。さらに、あなたはどのようにしてその資質を養っていくか、努力の仕方を述べなさい。(800字以内)

入試年度	食品生命科学科
2021	問 新型コロナウイルスCOVID-19の感染拡大によって、飲食店および高級食材の売上は減少する一方、非常食・備蓄食品や手づくり原料の需要が拡大するなど、食品関連業界は様々な影響を受けています。ウィズコロナ、アフターコロナの時代に、私たちの食事情はどのように変わっていくと思いますか。あなたの知っている現在の課題を例に挙げるとともに、解決に向けたあなたの考えを述べてください。(800字以内)
2020	問 麻布大学では、「地球共生系」の教育に取り組んでいます。これは、地球上の人と動植物の営みを、共生関係という視点からとらえ、「獣医」、「動物」、「健康」、「食物」、「環境」という各分野が相互に補完しながら、持続・発展していく社会を目指す教育です。「食物」の分野では、以下の問題が地球共生系の破綻につながると考えられています。下記の1)から3)の中から1つを選んで、今の時点で、 ①なぜその問題を選んだか ②自分だったら何ができるか 800字以内で述べてください。 1)フードロス 2)包装容器による海洋汚染 3)食料自給率の低下
2019	問 2020東京オリンピックを控え、外国人観光客の増加が話題になっています。この機会に、あなたなら日本の食品の何をどのようにアピールしたいと思いますか。アピールしたい項目とその方法を述べてください。(800字以内)
2018	問 「医食同源」の考え方を説明し、「生活習慣病」との関連についてあなたの考えを述べなさい。(800字以内)
2017	問 食の安全と食の健康に関する専門家を目指す上で、「麻布大学食品生命科学科で学びたいこと」と「自分の将来」との関連についてあなたの考えを述べなさい。(800字以内)

入試年度	環境科学科
2021	問 2015年の国連サミットで採択されたSDGs(エスディーゼーズ)は、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すために掲げられた17の国際目標である。SDGsの目標13は、気候変動に関するもので、「気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」とされている。 現在、気候変動に伴って起こる異常気象により、水資源の不足、豪雨や高潮による災害、農作物の生育不良、陸や海の生態系への影響など、様々な問題が生じつつある。気候変動は地球規模の環境課題であるが、巨大台風による豪雨災害など、近年は身近な問題として経験することもある。SDGsの目標13を達成するために、自身ができることや、地域や社会が取り組むべきことについて、あなたの考えを800字以内で述べなさい。
2020	問 近年、大型のプラスチックごみ問題に加え、微細なマイクロプラスチックによる環境汚染問題が注目されています。「マイクロプラスチック」とは、5ミリメートル以下の微細なプラスチックで、廃棄されたペットボトルやレジ袋などが海に流出し、紫外線や波の影響で細かく砕かれたものとされています。あなたが知っている、あるいは感じているマイクロプラスチックの問題点を挙げ、その問題を解決するために、あなたは何が重要だと思いますか。800字以内で述べなさい。
2019	問 身近な環境問題のひとつに、いわゆる「里山(さとやま)」の問題があります。「里山」とは、集落、人里に隣接して、人間の影響を受けた生態系が存在する山をいいます。あなたが知っている、あるいは感じている里山の問題を挙げ、その問題を解決するために、環境科学科でどのような事柄を学びたいか述べなさい。(800字以内)

2018	問 次の表は国連ミレニアム開発目標の成果の一部と、国連児童基金のデータをまとめて作成したものです。この表のデータを利用して、以下の項目について、項番号を記してから、記述しなさい。(800字以内) 1) データから読み取れる情報を説明しなさい。 2) あなたが特に問題と考える点を説明しなさい。 3) 下痢症による5歳未満の子供の死亡数を減らすために有効と考える対策を提案しなさい。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地域</th> <th colspan="2">安全な飲料水へのアクセスが可能な人口割合(%)</th> <th colspan="2">衛生施設(トイレ)の人口普及率(%)</th> <th rowspan="2">下痢症により死亡する5歳未満の子供の数(1000出生当たりの数)(2015年)</th> </tr> <tr> <th>1990年</th> <th>2015年</th> <th>1990年</th> <th>2015年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アンゴラ(アフリカ)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">23.83</td> </tr> <tr> <td>都市部</td> <td>52</td> <td>75</td> <td>65</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>農村部</td> <td>44</td> <td>28</td> <td>8</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>46</td> <td>49</td> <td>22</td> <td>52</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中国(東アジア)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">0.30</td> </tr> <tr> <td>都市部</td> <td>97</td> <td>98</td> <td>68</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>農村部</td> <td>56</td> <td>93</td> <td>40</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>67</td> <td>95</td> <td>48</td> <td>76</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(参考)日本</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">0.05</td> </tr> <tr> <td>都市部</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>農村部</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	地域	安全な飲料水へのアクセスが可能な人口割合(%)		衛生施設(トイレ)の人口普及率(%)		下痢症により死亡する5歳未満の子供の数(1000出生当たりの数)(2015年)	1990年	2015年	1990年	2015年	アンゴラ(アフリカ)					23.83	都市部	52	75	65	89	農村部	44	28	8	22	全体	46	49	22	52		中国(東アジア)					0.30	都市部	97	98	68	87	農村部	56	93	40	64	全体	67	95	48	76		(参考)日本					0.05	都市部	100	100	100	100	農村部	100	100	100	100	全体	100	100	100	100	
地域	安全な飲料水へのアクセスが可能な人口割合(%)			衛生施設(トイレ)の人口普及率(%)		下痢症により死亡する5歳未満の子供の数(1000出生当たりの数)(2015年)																																																																								
	1990年	2015年	1990年	2015年																																																																										
アンゴラ(アフリカ)					23.83																																																																									
都市部	52	75	65	89																																																																										
農村部	44	28	8	22																																																																										
全体	46	49	22	52																																																																										
中国(東アジア)					0.30																																																																									
都市部	97	98	68	87																																																																										
農村部	56	93	40	64																																																																										
全体	67	95	48	76																																																																										
(参考)日本					0.05																																																																									
都市部	100	100	100	100																																																																										
農村部	100	100	100	100																																																																										
全体	100	100	100	100																																																																										
出典：Progress on sanitation and drinking water - 2015 update and MDG assessment および https://data.unicef.org/wp-content/uploads/2015/12/CoD_CoD_Diarrhoea_Dec-2015_WHO_MCEE_234.xlsx																																																																														

2017	問 次の図は、環境モニターアンケート「水辺環境について」の結果を抜き出したものです。身近な水辺の環境の善し悪しについて、この図から読み取れることを説明しなさい。そして我が国の環境問題の歴史を考えながら、この結果の理由を記述しなさい。(800字以内)	<p>身近な水辺の環境をどう思いますか？(年代層別)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年代層</th> <th>良い環境だと思う</th> <th>良い環境とは思えない</th> <th>どちらとも言えない</th> <th>近くに水辺はない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20歳以上30歳未満</td> <td>約70%</td> <td>約20%</td> <td>約10%</td> <td>約0%</td> <td>約0%</td> </tr> <tr> <td>30歳以上40歳未満</td> <td>約50%</td> <td>約30%</td> <td>約15%</td> <td>約5%</td> <td>約0%</td> </tr> <tr> <td>40歳以上50歳未満</td> <td>約30%</td> <td>約40%</td> <td>約20%</td> <td>約10%</td> <td>約0%</td> </tr> <tr> <td>50歳以上60歳未満</td> <td>約10%</td> <td>約50%</td> <td>約20%</td> <td>約20%</td> <td>約0%</td> </tr> <tr> <td>60歳以上</td> <td>約5%</td> <td>約40%</td> <td>約15%</td> <td>約40%</td> <td>約0%</td> </tr> </tbody> </table>	年代層	良い環境だと思う	良い環境とは思えない	どちらとも言えない	近くに水辺はない	無回答	20歳以上30歳未満	約70%	約20%	約10%	約0%	約0%	30歳以上40歳未満	約50%	約30%	約15%	約5%	約0%	40歳以上50歳未満	約30%	約40%	約20%	約10%	約0%	50歳以上60歳未満	約10%	約50%	約20%	約20%	約0%	60歳以上	約5%	約40%	約15%	約40%	約0%
年代層	良い環境だと思う	良い環境とは思えない	どちらとも言えない	近くに水辺はない	無回答																																	
20歳以上30歳未満	約70%	約20%	約10%	約0%	約0%																																	
30歳以上40歳未満	約50%	約30%	約15%	約5%	約0%																																	
40歳以上50歳未満	約30%	約40%	約20%	約10%	約0%																																	
50歳以上60歳未満	約10%	約50%	約20%	約20%	約0%																																	
60歳以上	約5%	約40%	約15%	約40%	約0%																																	
<p>(環境モニターアンケート「水辺環境について」http://www.env.go.jp/press/files/jp/9372.pdf)</p>																																						